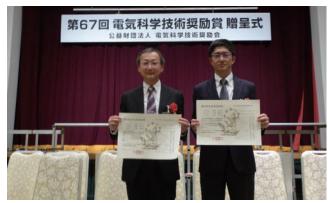
## 電気科学技術奨励賞を受賞 第67回

第67回電気科学技術奨励賞贈呈式が、2019年11月 20日、東京都内にて行われ、賞状ならびに記念楯が受賞 者に贈呈されました。

「電気科学技術奨励賞」(発足当時の名称はオーム技術 賞)は、昭和28年に創設され、電気科学技術分野に関す る発明、研究、実用化等で優れた業績をあげた方々に贈ら れ、歴史の深さとその領域の広さが特徴で、最近では電 気関係者のみならず科学技術各界からも注目を集めてい る権威ある賞です。今回は、当社から2名が受賞しました。

杉本 重幸さん(技術開発本部電力技術研究所流通 グループ) と浅野 充俊さん (電力ネットワークカンパニー 三重支社津電力センター変電課) が「リチウムイオン キャパシタ式短時間停電補償装置の開発と実用化しによ り受賞しました。\*株式会社明電舎との共同受賞

受賞者は、電気二重層キャパシタの約3倍のエネルギー 密度を持つリチウムイオンキャパシタを蓄電部に用いた 短時間停電補償装置を開発しました。本装置は、瞬時電 圧低下に加え、数十秒程度の短時間停電まで補償を可能 とし、非常用発電機と組み合わせることにより完全無停 電も実現し、自家用発電機の代替も期待できる点が評価 されました。



贈呈式会場にて(左から)杉本さん、浅野さん

## 中部科学技術センター顕彰を受賞

エネルギー応用研究所・生産技術グループ・基礎技術 チームの長伸朗チームリーダーが、2015年発表の「超高 速昇温コンパクト炉 | について、第18回中部科学技術セ ンター顕彰の奨励賞を受賞しました。

同賞は、公益財団法人中部科学技術センターが、優れ た研究開発を行い産業技術の振興に顕著な業績を挙げた 企業の研究者を顕彰するものです。

開発品は、自動車工場などの加熱工程の生産時間を大 幅に短縮でき、トヨタ自動車の工場などに多数が採用さ れています。今回の顕彰では、その独創性と長年の研究 蓄積が評価されました。表彰式は12月3日に名古屋市の ウインクあいちで執り行われ、株式会社豊電子工業との 共同受賞となりました。



受賞した養さん(前列右から3番目)

## 「テクノフェア2019」開催

技術開発本部では、2019年10月31日(木)~11月1日 (金) の2日間、恒例のテクノフェア2019を開催しました。 27回目を迎える今回は、「エネルギー新時代 未来へチャ レンジ」(新たな時代の安定供給・新しいコミュニティの 実現へ)をテーマに掲げ、会場では、「原子力安全技術 | 「新たな時代の安定供給」「コミュニティサポートインフ ラの提供・革新技術」「エネルギー事業を支える基盤技 術 | の4つの展示分野にグループ分けし、最新の取り組 み・事業を紹介するとともに、ドローンの実演、MMS (モービル・マッピング・システム)・電動車いす (WHILL) の実車、変電所作業工具や分析装置の実機、 AI: 画像解析技術など工夫を凝らし紹介しました。また、 昨年に引き続き(一財)電力中央研究所の研究紹介やグ ループ会社の技術紹介もしました。

両日とも天候に恵まれ、企業や学校、行政、地域のみな さまなど、昨年を超える3250名の方々にご来場いただ きました。

今後も最新の研究成果等を紹介し、より良いフェアと していきますので、次回も多数のみなさまのご来場をお 待ちしております。